

BASF、中間体の生産能力を増強

2006年3月29日

BASF(本社:ドイツ ルートヴィヒスハーフェン)は 2006 年の第 4 四半期をめぐり、ルートヴィヒスハーフェンの拠点において、ガンマ・ブチロラクトン(GBL)と N-メチルピロリドン(NMP)の 2 種類の間接体の生産能力を引き上げます。この増強により、BASF における NMP の生産能力は年産 7 万トン、GBL は年産 8 万 5000 トンとなります。また、N-エチルピロリドン(NEP)に対する需要の拡大に対応するため、NEP の生産能力も引き上げます。

BASF は、2005 年にベルギーのフェルイにある NMP プラント(年産 2 万トン)1 基と、ブタンジオール(BDO)誘導体プラント(年産 7 万トン)1 基を閉鎖しましたが、2006 年末迄には、閉鎖前と同水準の NMP 生産能力に戻ることになります。なお、今回の生産能力の拡充では、BDO の生産能力には変更はありません。

NMP と NEP は、非常に優れた溶剤として、エレクトロニクス業界やアグロケミカル業界で利用されています。具体的な用途としては、塗料剥離剤や工業用洗浄剤、プロセス溶剤としてさまざまな業界で利用されています。GBL は、主に NMP と NEP の生産での前駆体として利用されています。

BASF は、ドイツのルートヴィヒスハーフェンと米国のガイスマーにある 2 カ所の統合拠点「フェアブント」に NMP プラントを持つ NMP の世界的リーダーです。

■ BASF の中間体事業について

BASF グループの中間体事業部は、世界で最も広範な中間体物質を開発、生産、販売しています。600 以上におよぶ製品のうち特に重要なのは、アミン、ジオール、多価アルコール、酸などです。中間体は、塗料やプラスチック、医薬品、紡織繊維、洗剤、農薬の出発原料として使用されます。そして BASF の革新的な中間体は、最終製品の特性の改善や、生産プロセスの効率性の向上に役立てられています。また、BASF の同事業部は ISO 9001:2000 認証を取得しており、ヨーロッパ、アジア、南北アメリカに生産拠点を有しています。2005 年現在、同事業部は 2,665 人の従業員を擁し、世界売上は 20 億ユーロ以上に上ります。詳細については、<http://www.basf.de/intermediates> をご覧ください。

■ BASF について

BASF(ビーエーエスエフ)は「ザ・ケミカル・カンパニー(The Chemical Company)」を標語に掲げる世界の化学業界のリーディングカンパニーです。BASF の製品群は、化学品、プラスチック、高機能製品、農業、ファインケミカルから原油や天然ガスに至るまで多岐にわたります。あらゆる業界のパートナーとして信頼されている BASF は、高度なソリューションと高品質な製品によって、顧客のさらなる成功をサポートしています。BASF では、新技術の開発により新たな市場を切り開いています。また、経済的な成功、環境保護、および社会的責任を果たすことでより良い未来に貢献しています。約 8 万 1,000 人の従業員を擁する BASF は、2005 年度には 427 億ユーロを超える売上高を計上しました。BASF の株式はフランクフルト(BAS)、ロンドン(BFA)、ニューヨーク(BF)、チューリッヒ(AN)の各株式市場において取引されています。同社のインターネットホームページアドレスは www.basf.com です。BASF ジャパン(株)のインターネットホームページのアドレスは www.basf-japan.co.jp です。

BASF ジャパン株式会社
コーポレート・コミュニケーションズ
住所: 〒102-8570
東京都千代田区紀尾井町 3-3
TEL: 03-3238-2341
FAX: 03-3238-2514
URL:<http://www.basf-japan.co.jp>

■ この件についてのお問い合わせ先

BASF ジャパン株式会社
コーポレート・コミュニケーションズ 山田 真紀
Tel. 03-3238-2341

BASF ジャパン株式会社 広報代理
ヒル アンド ノウルトン ジャパン株式会社 野田 葉子
Tel. 03-5768-8412